

## 試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名:北総地域における小型トンネルを利用した7月どり根深ネギの栽培法			
[要約]夏ネギ用の中生品種を用いた稚苗定植栽培において、12月下旬～1月上旬に播種、苗齢2葉となる2月下旬に定植し、定植後から4月中旬まで小型トンネルで被覆して生育促進させることで、比較的冬期寒冷な北総地域においても7月中旬から根深ネギの出荷が可能となる。			
キーワード(専門区分)栽培 (研究対象)野菜類-ネギ (フリーキーワード)ネギ、小型トンネル、生育促進、中生品種			
実施機関名(主 査) 農業試験場北総営農技術指導所畑作営農研究室  (協力機関)なし  (実施期間)1998年度～2000年度			

### [目的及び背景]

稚苗定植栽培の普及に伴い、県内の夏ネギ栽培は従来の大苗定植栽培に比べて、生育期間が2カ月程度短縮された。しかし、北総地域では定植時期となる春先の気温が低いため、収穫は早くとも7月下旬以降となる。そこで、定植直後に安価な資材を被覆し、初期生育を促進させることで、北総地域における7月どり根深ネギの安定生産技術を確立する。

### [成果内容]

1. 夏ネギの稚苗定植栽培において、定植直後から厚さ0.03mm、幅115cmのPO系フィルムを用いて1畦ごとに小型トンネルを被覆することで初期生育が促進され、中生品種を7月中旬から出荷することが可能である(図1)。
2. 品種は、葉鞘部の伸びおよび肥大ともに良好で、商品価値が高いL太、2L収量の割合が高い「長宝」、「夏場所」、「SK5-10」、「SK5-11」などの中生品種を用いる(図2)。
3. 播種は、通常の夏ネギ栽培と同等かやや早い12月下旬～1月上旬とし、本葉2葉時となる2月下旬に定植する(表1、2)。
4. 定植後直ちにトンネル被覆し、3月中旬から開孔率1%程度の孔換気を開始する。以後徐々に換気量を増やし、4月中旬にトンネルを除去し、収穫まで3～4回に分けて追肥・土寄せする。6月下旬に止め土を行えば、7月中旬からの出荷が可能である(表3)。

### [留意事項]

1. トンネル用のフィルム代は、10a当たり約28,000円である。
2. 4月上旬には、葉の先端がトンネルに当たるまでネギが成長する。トンネル除去1週間前には、トンネルの天井にカッターナイフなどで幅30cm、長さ60cm程度の長方形の孔を1mおきに開け、葉焼けを防止するとともに、ネギを外気に馴化させる。

[普及対象地域]北総台地

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

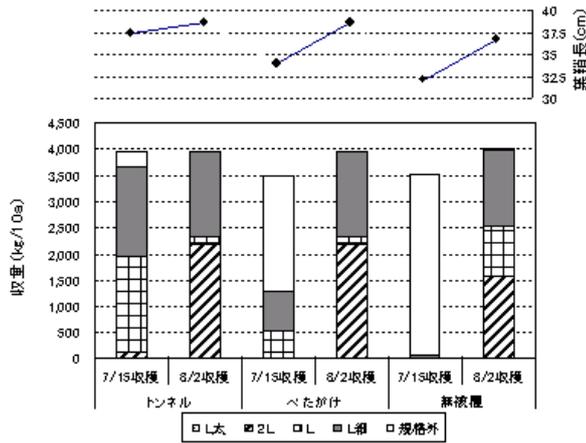


図1 被覆資材の種類と葉鞘長、規格別収量

注) 各階級の計量区分

L太: 軟白長20cm以上、太さ20mm以上 2L: 軟白長25cm以上、太さ15~19mm  
L: 軟白長20cm以上、太さ15~19mm L細: 軟白長20cm以上、太さ10~14mm

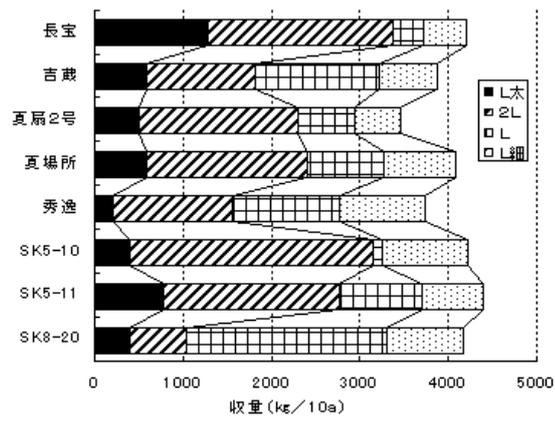


図2 各品種の規格別収量

注) 各階級の計量区分は図1と同じ。

表1 小型トンネル栽培における播種時期とネギの生育、収量

播種日	生育途中(5月24日)				収穫時(7月15日)				上物の階級別割合(%)			
	葉鞘長 (cm)	地上部重 (g)	葉鞘長 (cm)	軟白長 (cm)	葉鞘径 (mm)	調製重 (g)	上物収量 (kg/10a)	L太	2L	L	L細	
12月14日	15.9	25.6	37.4	23.8	14.2	94.0	3,674	0	3	50	47	
12月25日	15.7	23.8	37.0	23.2	14.0	93.5	3,440	0	0	61	39	
1月5日	15.4	24.9	35.4	24.0	14.4	92.3	3,616	0	0	65	35	

注1) 定植日: 1998年12月14日播種が1999年2月22日、12月25日播種が3月2日、1月5日播種が3月12日、トンネル換気(孔換気)開始: 4月6日、トンネル除去: 4月20日、収穫: 7月15日  
2) 階級の計量区分は図1と同じ。

表2 小型トンネル栽培における定植時の苗齢とネギの生育、収量

定植時の苗齢	定植時の			トンネル除去時			収穫時(7月13日)				上物の階級別割合(%)			
	葉鞘径 (mm)	葉鞘長 (cm)	地上部重 (g)	葉鞘長 (cm)	軟白長 (cm)	葉鞘径 (mm)	調製重 (g)	上物収量 (kg/10a)	L太	2L	L	L細		
2葉	2.6	10.1	12.6	37.9	25.5	15.8	106.6	4,611	13	48	21	18		
2.5葉	3.6	11.7	11.9	36.3	23.6	16.2	108.7	4,001	20	20	44	16		
3葉	4.4	8.9	8.1	37.6	25.1	15.8	108.5	4,535	11	44	22	23		

注1) 播種: 1998年12月21日、定植は2葉区が2月24日(播種後65日)、2.5葉区が3月6日(播種後76日)、3葉区が3月17日(播種後87日)、トンネル換気(孔換気)開始: 3月30日、トンネル除去: 4月24日、収穫: 7月13日  
2) 階級の計量区分は図1と同じ。

表3 小型トンネル栽培におけるトンネル除去日とネギの生育、収量

トンネル除去日	生育途中(5月24日)			トンネル除去時の				収穫時(7月15日)				上物の階級別割合(%)			
	葉鞘長 (cm)	地上部重 (g)	トンネル除去時の葉身の折れ	葉鞘長 (cm)	軟白長 (cm)	葉鞘径 (mm)	調製重 (g)	上物収量 (kg/10a)	L太	2L	L	L細			
3月31日	16.6	36.0	少	36.8	23.6	14.3	101.9	4,335	0	6	53	41			
4月12日	17.9	40.2	少	38.0	24.6	14.8	103.3	4,234	1	16	50	32			
4月20日	18.2	43.7	やや発生	38.7	25.3	14.9	109.1	4,385	0	25	39	35			
4月30日	18.3	45.6	多発	38.5	25.2	14.6	107.9	4,503	1	19	44	35			

注1) 播種: 1998年12月24日、定植: 1999年3月2日、トンネル換気開始: トンネル除去する10~15日前、収穫: 7月15日  
2) 階級の計量区分は図1と同じ。

[発表及び関連文献]

平成10、11年度野菜試験研究成果概要集(公立) - 関東東海1 -  
平成13年度 試験研究成果発表会(野菜)